平成３０年度　全国学力・学習状況調査結果報告

６年生を対象に行った全国学力・学習状況調査の結果が９月に示されました。その結果と比較した本校の児童の実態と学校の対策についてお伝えします。

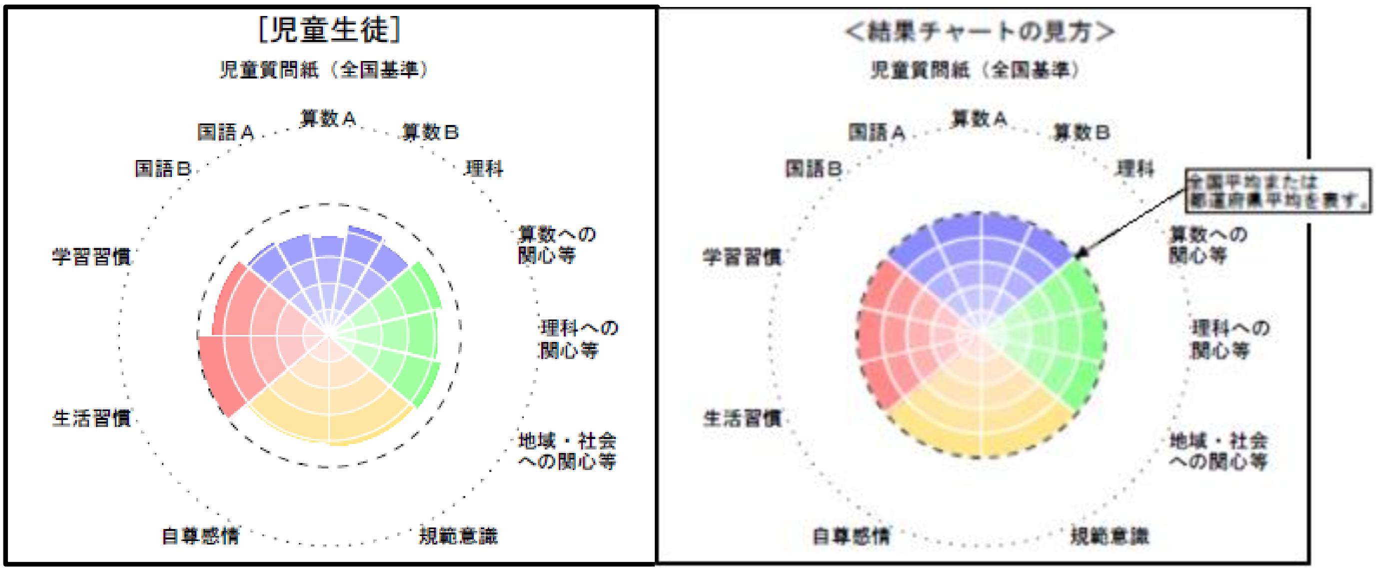
『学習面について』

「算数の勉強は大切だ」「算数で学習したことを生活で活用できないか考えている」と考えている子が多い一方で、基礎的な知識・技能（Ａ問題）、発展的な課題（Ｂ問題）については、全国平均をやや下回る結果となっています。国語・算数ともに基礎的な知識・技能の確実な習得と定着が課題として挙げられます。また、「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがある」と考えている子が多く、生活科や総合的な学習の時間等で地域の方と関わったり、サポーター等で地域の方に教えていただいている成果だと考えられます。

『意識調査より』

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に関しては 85%近くの児童が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えている。また、「5 年生までの授業や課外活動で、地域のことを調べたり地域の方と関わったりする機会が多くあった」「学校のきまりを守っている」などが高い値を示しています。総合学習で大切にしていることが結果として表れています。また、「決まった時刻に寝る」「決まった時刻に起きる」という生活習慣も高い値を示しています。一方、「自分にはよいところがある」などの項目が課題として見られます。教科の学習はもちろんのこと学校教育全体を通して、教育活動全体で自尊感情を育てていきます。

☆学校として

国語や算数の基礎・基本の定着（漢字の読み書き、四則計算など）には、学校全体で取り組んでいく必要があります。朝の時間等を活用していきます。また、生活科や総合的な学習の時間を柱として、前向きに学習に取り組み、自分の考えを友達に伝える力、最後まであきらめずに粘り強く取り組む姿勢を育てていきます。

※日枝小学校の結果チャート